

	<h1>春の妖精 カタクリが開花しました</h1> <p>～23区唯一の群生地「清水山憩いの森」へ、カタクリを見に行きませんか？～</p>	
と き	3月16日撮影	
と ころ	清水山憩いの森（大泉町1-6）	
<p>23区唯一のカタクリの群生地「清水山憩いの森」（大泉町1丁目）で、16日に一番花が開花した。</p> <p>清水山憩いの森の北向き斜面は、見ごろを迎えると薄紫色のカタクリの花で覆われる。</p> <p>今年の見ごろは、3月26日から4月3日ごろになる見通し。</p>  <p>▲ 今年が一番花 (平成28年3月16日撮影)</p>		

【薄紫色のカタクリがこれから見ごろを迎えます】

カタクリは、晴天の日に気温が上がると開花し、夕方には閉じてしまう。また、曇りや雨の日、寒い日は花びらを閉じてしまう。みどり推進課では「きれいに咲く姿を見るには、天気のいい暖かい日にお越しください。4月3日ごろまで楽しめます」と話している。

清水山憩いの森には、カタクリの開花時期にあわせて、カタクリの生態や憩いの森に生息する植物について解説する「カタクリガイド」が常駐する。ガイド解説を楽しみに毎年訪れる人も多く、去年は期間中に約6千人が訪れた。ガイドは現地受付で予約は不要。4月15日まで毎日9時から17時まで滞在する。

昨年、一番花が咲いたのは3月17日。カタクリガイドは「2月は寒い日が多く心配したが、適度な降雨があり、比較的気温が高かったため昨年とほぼ同じ開花時期となったのではないかと話している。

【カタクリの紹介】

カタクリはユリ科に属する多年草で、冬から早春にかけて陽光が降り注ぐ、湿り気のある落葉樹林に見られる。通常北向きの斜面林に多く見られ、武蔵野の面影を残す典型的な雑木林である「清水山憩いの森」でも、北向きの斜面に生えている。

カタクリは、種子から花が咲くまでに7～8年かかり、草丈は10cmほど。2枚葉を出し、2枚の葉から出る茎の先に花をつける。花は通常薄紫色で下を向き、6枚の花びらを外に反り返らせて咲くのが特徴。一株の開花期間は一週間程度で、例年3月下旬から4月上旬にかけて次々に咲き始める。



▲ 見ごろを迎えた清水山憩いの森
(平成27年3月30日撮影)

【清水山憩いの森（10,263㎡）】

23区唯一のカタクリの群生地であり、昭和51年に「清水山憩いの森」として一般に公開。「東京の名湧水57選」にも選ばれている。区ではこの貴重な自然を末永く保存するために「(仮称)清水山公園」として新たに整備する。整備にあたっては、区民からの寄付を原資とした練馬区みどりを育む基金を活用する。平成29年3月に開園予定。



▲ (仮称)清水山公園 (イメージ)

- 交通 西武バス・国際興業バス（石神井公園駅北口～成増駅南口、光が丘駅～土支田循環）で「土支田二丁目」下車徒歩約3分
練馬区みどりバス（光が丘駅～保谷駅）で「土支田地域集会所」下車 徒歩約4分（駐車場はありません）

【問い合わせ】

（カタクリについて）練馬区 みどり推進課 みどり協働係 ☎ 03-5984-2418
（公園整備について）練馬区 道路公園課 公園建設係 ☎ 03-5984-2416